

エボニックと東京都市大学が恵泉女学園中学・高等学校で「リケジョ応援プログラム」を開催

2023年10月19日

エボニック ジャパン株式会社(本社:東京都新宿区、社長:フロリアン・キルシュナー)と東京都市大学(東京都世田谷区、学長:三木 千壽)は、10月17日に恵泉女学園中学・高等学校(東京都世田谷区)で「リケジョ応援プログラム」を開催しました。

本件に関するお問合せ

エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

同イベントは、理系学部への進学を検討している女子中高生を対象に、理系学部を選択した女性が実際に企業でどのように働いているか、その具体的な姿を紹介し、進路選択の一助とすることを目的に東京都市大学のダイバーシティ推進室が2019年より進めている取り組みです。

東京都市大学
大学運営課(広報担当)
E-mail: toshidai-pr@tcu.ac.jp

日本におけるエボニック グループでは、社会貢献活動の一環として2007年から主に小学生を対象とした化学実験ショーを各地で開催し、これまで4,000人を超える子どもたちに化学の魅力を伝えてきました。さらに、近年、人材のダイバーシティはますます重要視されていますが、日本の化学業界ではまだ男性社員の割合が圧倒的に多いという現状があります。

エボニック ジャパン(株)オイルアディティブス部 部長 本間美穂は、「これからの社会において、さらなる女性の活躍は必要不可欠です。一言で理系と言っても様々な選択肢があり、エボニックにおけるリケジョ社員のキャリアも多様です。本プログラムを通じ、化学の楽しさとともに、私たちの経験を若い世代にシェアすることで、進路選択の力添えができたことを嬉しく思います」とコメントしています。

講座では、エボニックの製品(シリカ、界面活性剤)を使った4つの実験を行い、女子中高生にとっても身近な化粧品や食品、文房具などにも応用される化学技術を紹介しました。その後の仕事紹介のセッションでは、飼料添加剤の技術営業職、塗料添加剤の技術職、ヘルスケア製品の品質・薬事などに携わる女性社員5名から、それぞれの所属部署の取り組みと、進路選択の理由やこれまでのキャリアを紹介しました。さらに、理系の中でも化学を選択する魅力として、化学業界は、新しい技術や製品の開発において中心的な役割を果たしており、社会全体にとっても非常に価値のある事を参加した生徒たちに伝えました。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

東京都市大学
〒158-8557
東京都世田谷区玉堤 1-28-1

東京都市大学について

「学びたい」という熱意のもとに学生たち自らが中心となって本学の前身である武蔵高等工科学校が創られました。“公正・自由・自治”という建学の精神は、90年の時を経てなお力強く継承されています。2009年に武蔵工業大学より「東京都市大学」と改称した本学は、現在では社会の根幹を支える理工学をはじめとした環境、情報、都市生活、幼児教育の各分野にわたる、8学部18学科を備える総合大学となりました。

- ・東京都市大学: <https://www.tcu.ac.jp/>
- ・東京都市大学 ダイバーシティ推進室: <https://www.diversity.tcu.ac.jp/>

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2022年度は、185億ユーロの売上、24.9億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、34,000人以上の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2022年度は、37.8億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,200人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。